

3月報(2021年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26
☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615
e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

浦上四番崩れ流配地 福山市内巡礼

富田恵子

2月7日(日)13時より、お天気にも恵まれ簡単に資料を見て頂き、まずロザリオの祈り(旅する教会の神秘)を一連共に唱え出発です。



今年はコロナ禍でもあり、いくら戸外であるとはいえ、少しでも語るのではなく、文章で書いて知らせたいとパネルをつくって、ミカエルフエスタから見ていただきました。今回は、福山藩の歴史的な流れと長崎浦上の流れを対比するパネルも投入しました。私自身も、幕末から明治初年のめまぐるしい動きについていけないので、年表を見ると少し分かりやすくなりました。

昨年参加された大塚さんより、貴重な資料を頂き、福山教会のなりたちの中にも、浦上のクリシタンの方たちの流配地ということが関係あったのかと知り、中川さんとのエピソードもどうにかやっと分かった次第です。

ぜひ皆様も何か気付いたこと等ありましたら、浦上クリシタン福山流配研修会までお知らせくださいね。

来年に向け、福山の阿部家の資料から見つけたことなど、今調べ中ですのでぜひ一緒に調べに行きましょうね。いつでもメンバー募集中です。

(ワレラノムネ アナタノムネト オナジ)と信仰を告白されたゆりさんたちの信仰にならえるよう続けていきたいと思ひます。



キリストに生きる私の兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

昨日電話があり、信仰について月報に何かを書いて、水曜日までに提出するように頼まれました。締切日まで、僅か五日間しかないと聞いて、私の最初の反応は、「私は宗教的で忠実なクリスチャンですか？ 言葉で表現するのはとても深くて難しいテーマです。また、私にとって母国語ではない日本語で書くには？」とにかく、頑張ってみると受け取りました。

第一に、私は赤ちゃんの時に洗礼されてカトリック教徒になりました。両親の判断で、私はキリストの道を歩むことになったのです。子供の頃、家族と一緒にミサに参加し、その後に外食や買い物、映画鑑賞などをして楽しい時間を過ごしたことが記憶に残っています。素敵な子供時代を過ごせて思い出にあふれています。私は学校や教会のカテキズムの授業で神について学びました。これらは私の若い頃の信仰生活のルーティーンの一部でした。振り返って見ると、一度中学生の頃に宗教についての疑問を持ったことがあり、父に尋ねたことを思い出しました。父がくれた答えは、万物には始まりがあり、科学的にも証明出来ない事や見えないものを信じる者が幸いなど沢山ありました。一番記憶に残っている答えは、親から子供への特別な贈り物を私に与えたいと思ったので、幼い頃の私に洗礼式を授けることを親として決めた、と話してくれたことです。子供は親に信頼し、いつも良いことしか与えない。偉大な神様も同じだと教えてくれました。しかも、自分は単に肉体の父親であり、神様だけが私たちの父だということもです。また、父には人では3つの要素が大切な事も教えて貰いました。それは”Body, Mind & Soul” 「体、思考、魂」のバランスをとることで私たちが健康で平和になることが出来るということです。体には食べ物と運動が必要であり、思考には知識が必要であり、魂には神が必要であると言っていました。私は「どのように？」と聞きました。すると、祈ることによって、魂に“栄養”が与られるよと答えました。

さて、私の信仰に対する最初の疑いから40年が経過しました。22年前に日本に引っ越してくるまで、マレーシアで毎週ミサに参加し続けました。しかし、結婚式の前に、日本人でカトリックではない人と結婚した後、どうすれば信仰を保つことが出来るのか心配していました。父は私に自分自身を疑わないように忠告しました。祈りを続けることで神様は私をきっと守ってくれると言いました。父も”Just do your best and He will show the way”の言葉もよく言いました。最善を尽くしたら神は道を示してくれる、と励ましてくれました。日本で生活を始めた頃、私は夫にカトリック教会を探して、イースター、クリスマス、新年のミサには私をそこに連れて行ってくれるようにと約束するように頼みました。あの時、上下町から年末年始

の深夜ミサにも参加をした事を思い出すと、やっぱり新婚で夫は親切にしてくれていたのかもしれない。☺

人生には山あり谷ありといいますが、自分が遭遇するとなると本当に辛いですね？その時に私は、何が悪かったのか自問します。神は私の祈りを聞き入れなかったのでしょうか？最後に、神様は答えました、神様は私達夫婦に美しい天使を賜られたのです。それは結婚後9年目の奇跡でした（今までマレーシアに帰省した時に※巡礼地の訪問と祈りが叶った事を信じていました）。それから、家計の経済的な危機、夫の転職、健康問題への不安、過去10年間に起こった多くの困難な事に続いて、今も生きており、神に感謝します。困った時に神の祝福を求めた祈りの数を思い出せません。同時に、私達を守って、導いて、そして平和を下さった神様に常に感謝します。それと、夫の理解とサポートに感謝しなければなりません、日本で信仰生活を続けることが出来た事、娘は生後間もなく洗礼式を受けた事。そして、数年前に夫もカトリック信者になった事。

ハレルヤ！神に感謝！これからも家族で信仰がある生活を送れるよう神様に祈ります。

私は強い信仰を持っているかどうか自分でもよく分かっていません。でも、大人になってから洗礼を受けた人に羨ましく感心します。彼らは自分たちの信念を確信して、自分で選択して決心をしました。また、私がクリスチャンでなかった場合は想像出来ません。私は最初から私であり、私はカトリックであることを誇りに思っています。もし、誰かが私にキリスト教とは何かを尋ねたら、私はお互いを愛することを学ぶことだと答えます。

最後に、昨年10月に亡くなった親愛なる父に捧げたいと思います。コロナでの旅行制限のため、彼の葬儀に出席出来なかったのは悲しいことでした。きっと、今は2年前に亡くなった弟と天国から微笑みながら見ているのかもしれない。

あまり上手に書けませんでした但し読んでくださってありがとうございます。また、福山教会、特に府中と新市地区の信者達に感謝の気持ちが一杯です。

皆様に、いつも神のご加護がありますように。

※：上記の巡礼地はマレーシアのペナン島の反対側の本島にある教会です。毎年七月末にお祭り St. Anne Festival が開催されています。東南アジア諸国から約10万人も集まります。興味がある方は、是非下記のホームページを検索してみてください。

<https://www.minorbasilicastannebm.com/>

南相馬便り㊟2021年2月 援助マリア修道会南相馬修道院 北村令子

2021年の1か月が早く過ぎ去って。早2月です、梅の便りも聞かれ、春がそこまでやってきました。でもまだ寒いです。コロナ終息の希望も芽生えてくるのでしょうか？

昨年末に支援物資を各戸に配った時、目の不自由な一人のおばあちゃん（といっても私の2つ上）が、「一人暮らしだから話に来てほしい」と言われ、「また来るね」と約束していたので、お正月4日に尋ねました。3.11の津波の時、小高の山側にある病院で仕事をしていたので、津波にはあっていないが患者さんの移送でてんやわんやだったこと。実家が村上地区：全戸が流された地域だったこと。（このことについてはもっと詳しく聞きたかったのですが、デリケートなことなので今回はさらっと聞き流し、またの機会に聞きたいと思います。）仮設に入って2年目の夏、突然に失明したこと。手術はできなかったこと等々、一気に話してくださいました。きっと誰かに聞いてほしかったのだと思います。目が不自由になったのは、地震と津波・原発事故で突然の避難と仮設の生活が厳しかったのが重なったからではないかと、私は思います。2016年、幸いに復興住宅のくじが当たって、仮設から一戸建ての住宅に転居。ご主人をこの住宅に移って亡くされたとのこと。もっと時間をかけて聞きたかったのですが、1時間しゃべりっぱなしの彼女が疲れた様子なので、「またの機会に続きを話してね」と、おいとま致しました。被災者の方はなかなか自分から話すことをなさらないのですが、小さな関わりができたことが嬉しかったです。

今回は以前から私の心に引っかかっていること、トリチウム汚染水のことについて書いてみたいと思います。無知な私が書くことですから、科学に通じておられる方はわかることを教えて頂ければ嬉しいです。トリチウムは三重水素といわれるようで、水素が三つくっついていて水の中に含まれているそうです。私は水素ガスの製造工場（浪江のロボットテストフィールドに隣接していて、以前11月号㊟で紹介しました）に行ったとき、この工場、あの三重水素を分解してガスに利用すれば一挙両得ではないかと単純に考えたのです。科学技術の進んだ現代、一瞬にして何十万人を殺戮する原子、水素爆弾を作ることができるのに、水素三つぐらいすぐ分解できるのではないかと。私が考えるぐらいだから、きっと科学者たちが考えていてくれ、今に解決方法を見出してくれると思っていました。

でも、2020年12月31日の福島民報（福島の地方新聞）で「トリチウム分離は無理なのか——早急に実用化断念——」という記事が出ました。経済産業省は、2014年度から、広く海外からもトリチウム分離技術の公募をし、七つの提案があったとのこと。その中で有力なものとして、トリチウム水と水の沸点の違いを利用し、水のみを沸騰させてトリチウムと分離させる技術があったが、十分なデータと検証ができていないことを理由に、実用化断念の結論を出したとのこと。ただ専門家からはその後の実験などもされていないことを考えると、結論ありきで、本当に時間をかけて将来的な見通しまで協議したのか不信感をあらわにしていると報じています。2016年の結論で、（2021年になっても未解決なので）5年間を無策、無実験で過ごしたことは許せないと思います。当事者の方々が国の復興への姿勢に疑問を抱くのが分かる気がします。また別の記事では、コロナ感染拡大の影響で、熔融核燃料（デブリ）の取り出しの2021年の開始を断念したことについても、不測の事態の備えがない東電の姿勢は甘すぎると報じています。これらの問題は、原発事故の被災地にとっては、命にかかわること（風評被害などで

生活権が脅かされる) なのです。その中でも、若者が自分たちの問題としてとらえようとする動きがあることも、またお伝えしたいと思います。もっともっとお伝えしたい事はありますが、今回はここまでとします。



← (左の写真) 浪江の水素ガス製造工場の水素ガスタンク / (右の写真) 東京電力第一原子力発電所構内にたまり続けるトリチウム汚染水のタンク

福島県では毎日のニュース天気予報の最後に、浜通りの各地域の空気中の放射線量と、

東電の接する海域の海水のトリチウム濃度等について線量ごと報道されます。ほとんどが基準値以下です。

写真メッセージ『 思いで、いっぱい? 2021』 募集のお知らせ

長引くコロナ禍で厳しい中、皆さんどのようにお過ごしでしょうか？

宿泊を伴うボランティアさんの受け入れを一年近く休止していますが、離れていてもカリタス南相馬を思い、応援して下さいありがとうございます。この間にも生活に困られている方々への食糧など支援活動を継続しており、多くの方々から支援物資や寄付金をお送り頂きました。カリタス南相馬の活動を支えて下さり、大変感謝しております。

去年はフェイスブックで皆さんからの写真メッセージ『エールをおくろう?』を掲載させて頂きましたが、今回第2弾を企画しました。福島で活動されたボランティアさん、まだカリタス南相馬に訪れたことはない方々、カリタス南相馬を支援して下さいっている方々、そして南相馬や浜通りの方々が、福島への思いを伝えあえる場になればと考えています。内容は福島での活動や訪れた時の思い出、訪れたことはないけれど福島に対する熱い思い、福島の好きな場所や食べ物の紹介など、福島を想う気持ちを自由に書いて下さり出身や名前、ニックネームなど記載してお送り下さい。但し、他者が不愉快になるような表現などは削除させて頂きますのでご了承下さい。

また懐かしい写真や現在の顔写真など1～2枚お送り下さい。カリタス南相馬のフェイスブックに掲載することが承諾出来る写真をお願いします。『思いで、いっぱい? 2021』のタイトルは、「福島の思い出」と「福島を思って」をかけており、一人一人の「一杯」で溢れるほどいっぱいになるとの思いで決めましたので、ぜひご賛同下さりメールもしくはファックス郵送等でお送りください。

一般社団法人 カリタス南相馬

〒975-0006 福島県南相馬市原町区 橋本町 1-15-1

E-mail: info@caritasms.com

Fax: 0244-26-8007



《灰の水曜日》

全ての枝を燃やし

ふるいにかけて

灰が出来上がります

3月・4月の行事予定

3 月		4 月	
5 (金)	性虐待被害者のための祈りと償いの日	1 (木)	聖木曜日 (主の晩餐)
6 (土)	四旬節黙想会 講師：猪口神父	2 (金)	聖金曜日 (主の受難)
7 (日)	四旬節黙想会 講師：猪口神父	3 (土)	聖土曜日
17(木)	日本の信徒発見の聖母	4 (日)	復活の主日
18(金)	聖園幼稚園卒園式	9 (金)	聖園入園式
19(土)	聖ヨセフ	11 (日)	復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
25(木)	神のおつげ	25 (日)	教会墓地ミサ (雨天 5/2)
28(日)	受難の主日(枝の主日)		

2021年3月号をお届けします。フレデリック神父様の呼びかけにより始まった月報「萌」は早いもので2018年3月の創刊号より丸3年を迎えることが出来ました。多くの皆様のご協力の賜物です。共に歩む信仰を共有する手段として、また福山教会の足跡の記録として、これからも前進したいと考えています。今後ともよろしくお祈りします。

月報委員会